

# プロポリスではじめよう、お口の健康ライフ

## 歯周病予防に必要な天然力

### 毎日お口に使うものだから、安全で安心できる天然力を選びましょう

歯周病（歯周炎・歯肉炎）は歯そのものの病気ではなく、歯を支えている周りの組織（歯ぐき、歯槽骨）が侵される病気です。サイレントデジースと呼ばれるように、痛みなどの自覚症状はありません。口の中の粘り、歯ぐきが腫れる、出血する、口臭が気になるなどの症状が現れたら注意が必要です。プロポリスエキス配合の【ケアポリス】には有効成分としてイソプロピルメチルフェノールと酢酸トコフェロールが配合されています。これらの成分の働きで歯周炎を予防し、口臭を抑制する薬用歯磨剤です。さらに抗菌作用のあるプロポリスエキスおよび抗炎症作用のあるカンゾウエキスを加えています。プロポリスとは、ミツバチが巣箱を守るために樹木の新芽や樹液とミツバチ自身の分泌液とを混ぜ合わせて出来る粘着性物質で、巣箱の入り口や隙間に塗り、ウィルスや細菌などの侵入を防ぐことから「天然の抗生物質」として、古くから民間治療に応用されてきました。プロポリスは産地によって品質が異なります。現在、ヨーロッパ、アメリカ、中国、オーストラリア、南米などあらゆる地域で採取されています。その品質や薬用作用は地域によって大きな違いがあります。良質なプロポリスが採れる産地はブラジルです。プロポリスの品質は樹木の種類、蜂の種類、生態環境などによって左右されます。ブラジル地域に生息するアフリカバチ科ミツバチとアレクリン、ユーカリ系などの薬理効果の高い樹木から採れるウルトラグリーンプロポリスがほかの地域のプロポリスと比較して薬理作用がもっとも高いと評価されています。

ケアポリスが「病気になる人は知っている」（ケヴィン・トルドー著）の推奨ハミガキ剤に選ばれました。口腔内を元気にする、歯肉ケアジェルをおススメします。

学会発表

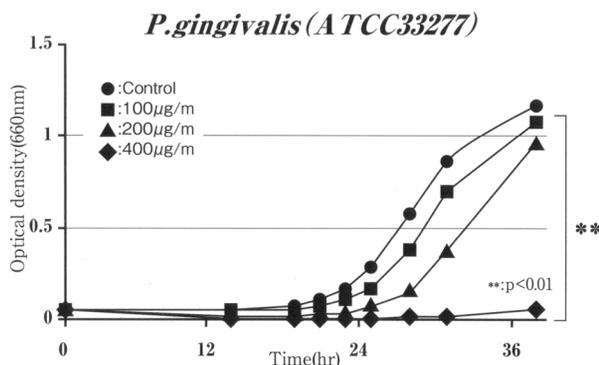
2010年度日本歯科保存学会、春季学術大会

口腔内細菌の増殖に対するプロポリスの効果

日本歯科大学新潟生命歯学部

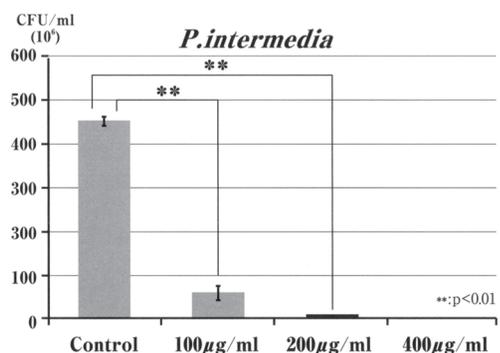
歯周病学講座、慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室

## propolis evidence



*P.intermedia*の増殖は

100 µg/ml以上で有意に抑制され、400 µg/mlで完全に増殖が抑制された。



*P.gingivalis*(ATCC33277)の増殖は

100 µg/ml以上で有意に抑制され、400 µg/mlで完全に増殖が抑制された。

以上の結果により、プロポリスの口腔内細菌に対する抗菌作用が確認された。